

交野市教委ニュース

第141号(令和3年2月12日発行)

小学校1、2年生で、タブレット端末を使った授業が始まります

2月に入り、市立各小学校1、2年生へタブレット端末を配付しました。これにより、交野市では市立小中学校すべての児童生徒への配付が完了いたしました。

1年生へ初めてタブレット端末を配付するクラスの様子をお伝えいたします。

1年生、初めてのタブレット

子どもたちは、終始興奮状態で、1つひとつの操作を楽しみながら学んでいました。授業で行われた活動は、以下のようなものです。

- ① タブレットの置き方
- ② 電源の入れ方・切り方
- ③ パスワードの入力及びログイン操作
- ④ 地図アプリの使い方
- ⑤ タブレットの片づけ方



電源の入れ方や切り方、ログイン操作など、最初は慣れない様子で困惑していた子どもたちでしたが、何度か操作を行うだけで、1人ですいすいと操作できるようになりました。

続けて、地図アプリの使い方を学んだ際は、地図上に自分の現在地が表示されたことに、驚きと感動の声が上がりました。地図上に写真(ストリートビュー)を立ち上げて、自分の好きな方向へ画面を移動させました。「私の家見つけた。」「ここ行ったことある。」と、子どもたちは地図を使って、校区探検を楽しんでいました。

授業を終えたあと、子どもたちからは「自分の家を見つけることができ嬉しかった。」「画面を大きくしたり、小さくしたりすることがおもしろかった。」「知らないところへ行けた。」などの感想を聞くことができました。

最後に、担任から「次の授業からどんどん使っていくよ。」と伝えられると、子どもたちは大喜びで、次の授業へ胸を弾ませていました。

